

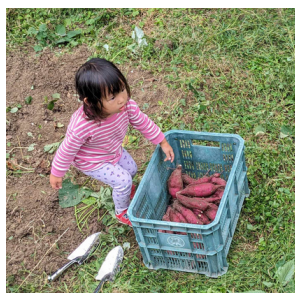
ノヤマ通信

vol.17 (2023.霜月)



森のようちえんヒュッテ

【10月の活動記録：2日中山池自然公園、5日上松葉奥池ビオトープ、12日城川町田穂、16日山の基地、19日おめぐり山、26日宇和運動公園、30日山の基地)】



▲実りの秋。ブドウのジャム作りや芋ほりなどをしました。

●活動を見つめるコラム

「ファンタジーの世界を楽しもう」

10/19に訪れたおめぐり山には、はしごで登る高い場所にウッドデッキがありました。そのデッキには滑り台もついていたので、子どもたちはデッキの上では滑り台を滑るということを何度も繰り返していました。

満足いくまでひとしきり遊んだ後、誰かが「ここは船だ～」と言い出して、「ぼくが運転手で、○○くんはみはりする人ね」「私はお客さん」とごっこ遊びが始まりました。山深い谷間から海はもちろん見えないのですが、そんなことを言うのは野暮というもの。自分も「ちかくに島は見えますか～？」と、遊びに乗っかりました。

幼児期の子どもたちは、絵本で読んだお話などの記憶から、森には怪物がいるとか、地面にあいた穴が別の国につながっているといったことを考えたりします。そうしたファンタジーな世界観から、子どもの主体的な遊びは始まるので、できるだけ子どものイメージにのっかって、見えてくる世界を一緒に楽しみたいと思っています。

(ゆ)



山奥で船に乗る人たち▶



▲10/19 森のようちえん@おめぐり山 (宇和町稲生)



山の基地

【10月の活動記録：6日、18日、31日日常管理、22日開放日 ※8日の開放は雨天のため中止】

●10/7、家族とお友達2家族とで山の基地にテントを張って泊まりました。基地の新しい活用方法を考えるためにたまにやっています。



●10/22の開放日、初めて来てくれた虫が大好きという女の子が、帰り際に「公園よりも楽しかったから、また来週の日曜に来る」と言ってくれました😊。こういう場を運営していてよかったな、長く続けていきたいなと思う瞬間でした。



●10/31、木の枝に設置していたブランコを一旦外しました。ロープの耐久性を考え、新しいものに交換してつけ直します。近いうちに、ツリーデッキもロープをほどいて、作り直したいと思っています。(場所も少し変わるかも?)



✿✿ その他の活動

●10/10えひめ自然保育連盟の勉強会に参加

森のようちえん全国ネットワーク連盟から理事の方に来ていただき、地域ネットワークの活動展開について勉強会を開きました。愛媛で森のようちえんがもっと広まっていくように、他の団体と交流しながら活動していきたいと思います。



●10/24ツルの食べもの調査

冬になると宇和の水田地帯には、ツルの仲間が飛来します。ツルと共生する地域をつくっていくため、今、ツルの食べものが一体どれくらいの量あるのかを調べる調査を、愛媛大学、日本野鳥の会愛媛、西予市役所の皆さんと一緒にしています。田んぼ内の落穂や二番穂を採集し、重さを測って量を調べます。



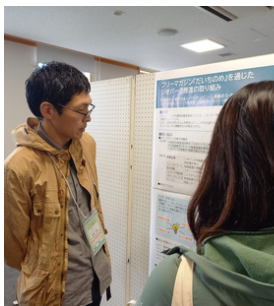
●『だいちのめ』第5号を発行

西予市から委託されている四国西予ジオパークのフリーマガジンの第5号を発行しました。“手入れ”にまつわるお仕事をしている方にいろいろお話を聞いてきました。興味ある方にお配りしますので、お声かけ下さい。



●日本ジオパークネットワーク全国大会に参加

毎年1回行われるジオパークの全国大会で生態学に関する分科会の運営とポスター発表を行いました。また、『だいちのめ』の取り組みが、他のジオパークにとっても参考になる優良事例として、表彰していただきました。(ゆ)



🌿 いきもの情報

活動の中で出会った生きものたちを紹介します。



ノブドウ

ブドウの仲間でも色とりどりの実がとってもきれいですが、残念ながら食べられません。

(10/2上松葉奥池ビオトープ)

🐣 よもやま話

●子どもたちのやりとりを見守ったり、だいちのめを編集したりする時に、言葉ってとても大事なと思う場面が結構ありまして。最近読んだ本(「こどものとも」初代編集長、松居直著)がとてもおもしろかったです。



松居さんは絵本をたくさん出版している福音館書店の編集者で、子どもたちにとって「読む」ということ以上に、読み聞かせの「音」として聞くことがどれだけ大切かについて、繰り返し書かれていました。物語の絵本を読んでもらった体験があれば、もし話が難しくても、その中のいくつかの言葉や出来事が子どもの中に蓄えられていくから、何かを表現する時にふっと出てくる。そして、そういった言葉の遣い方は教えられるものではないよ、と。また、絵本は、わかるわからないではなく、一緒にいるということ、そしてともにことばを共有しているとか、気持ちが通い合うとか、そういう人間関係がとっても大切なんだと子育てを通して分かるようになったそうです。

自分自身を振り返ると、21時頃にはもうくたくたで、小3のお姉ちゃんに読んでもらったら～と下の子たちに言ってしまうこともしばしばなので、「本読んで～！」と言われたら頑張って読むキャンペーン中です(笑)👉(ち)

●久しぶりに訪れた東京の駅は人がいっぱい、カッコいい電車もたくさん。でもJR四国のアンパンマン列車の、平和な雰囲気が好きです。(ゆ)



<発行> 一般社団法人

ノヤマカンパニー



愛媛県西予市宇和町稲生237-1

noyama.company@gmail.com